

群馬県立文書館

# 文書館だより

TEL 027 (221) 2346  
URL <http://www.archives.pref.gunma.jp/>

第42号 平成16年10月

## 温泉神社境内見取図

〔明治二十九年 新田郡古寺古社調査 知事官房社寺部〕

〔行政文書 明三三二七 2/2〕

〔今年度企画展・特別展「上州の名所を旅する」展示資料展40×横55cm〕



明治二十八年（一八九五）、「古社寺調査事項標準」（内務省訓令第三号）により、著名社寺等のうち保存を要するものを調査したのが「古寺古社調査」です。当館には七海町が保存され、閲覧できるようになっています。

調査事項は、所在地名、社寺仏堂・名所旧蹟名称、祭神・本尊名称、事由、建物・碑刻、絵図面等です。建物や境内の絵図面は、非常に詳細に描かれたものが多く、彩色されたものもあり、当時の社寺の姿をうかがい知ることができます。

この絵図面は、温泉神社（藪塚本町）の見取図です。境内ばかりでなく、神社周辺の藪塚宿等も描かれています。

藪塚の藪塚は、正中年間（鎌倉末期）に発見されたと伝えられています。鉱泉の湧き出ししている岩場に泉水（岩理水と称した）をためて権理様（温泉神社）の御手洗所とし、その泉水を焼湯（わかし湯）にして薬湯としました。薬湯は、湯前権現の別当である胎養寺の支配下でした。明和年間（江戸時代）には、湯小屋（温泉寮）を建て、泉水をわかつて人々を入湯させ、胎養寺に使用料を支払う契約を結んで薬湯採りが始まり、これが現在の藪塚温泉の始まりと考えられています。

明治期から昭和前期には、藪塚鉱泉と呼ばれていました。

# 明治期『郷土誌』

## 閲覧公開が始まりました

明治期『郷土誌』は、明治四十二年九月二十五日、群馬県知事神山岡次より発せられた群馬県訓令申第六〇号に基づいて各市町村が編纂したものです。

訓令申第六十号

郡市町村  
市町村立小学校

市町村長及小学校長ハ別紙目次ニ依リ明治四十三年六月三十日迄ニ郷土誌ヲ調製シテ市町村役場及市町村立小学校ニ備付テヘシ

明治四十三年九月二十五日 群馬県知事 神山岡次

別紙目次は省略しましたが、右が訓令全文です。訓令からは各市町村に最低二冊（小学校が複数存在する市町村には三冊以上）作成され、活用されたことがわかります。

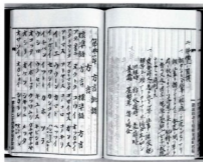
郷土誌の内容は、自然、口口から郷土の沿革、風俗習慣、経済まで広範囲におよび、郷土の歴史を知る上で大いに役立つ史料です。面白いところでは、動物・植物の分布、小学校・幼稚園・青年会等の沿革、使われている方言・諺・童話についても詳細に記されている例もあり、歴史研究・郷土史研究に限らず多方面で活用の可能性を秘めています。

また、訓令に添えられた目次に沿って編纂されたことにより、群馬県内各市町村の同時期・同項目による

比較が行える点も今後の活用において重要です。

県知事からの訓令という形で、県内の市町村が一斉に編纂をしたという例は、今のところ他府県では確認できません。

この群馬が誇る明治期『郷土誌』を県民の皆様にも積極的に活用していただくために、当館では平成十二年度からマイクログラフによる収集を開始し、現在までに当時二〇八あった市町村のうち、二〇市町村分、計一六八冊の郷土誌の撮影・製本・点検作業を終えました。



『妙義町郷土誌』より

以下に公開する郷土誌を簡易目録で掲載いたしましたので、ご来館の上、閲覧されてはいかがでしょうか。なお、『郷土誌』のマイクログラフ撮影は継続的におこなっております。皆様のお近くに該当する郷土誌がありましたら、当館までご一報ください。

### 閲覧公開した『郷土誌』目録

製本編	現市町村名	郷土誌タイトル
六七	前橋市	群馬県下川原村郷土誌
九八	前橋市	群馬県大妻村郷土誌
一五六	前橋市	群馬県南郷村郷土誌
三二一	前橋市	群馬県流石郷土誌
四一	前橋市	群馬県東村郷土誌
二二三	前橋市	群馬県元郷社村郷土誌
四三三	前橋市	群馬県元郷社村郷土誌
一〇〇	前橋市	群馬県清里村郷土誌
九六	前橋市	群馬県清里村郷土誌
四〇	群馬県赤城村	群馬県赤城村郷土誌
六八	群馬県赤城村	群馬県赤城村郷土誌
九七	群馬県赤城村	群馬県赤城村郷土誌
九七	群馬県赤城村	群馬県赤城村郷土誌
九三	群馬県北郷村	群馬県北郷村郷土誌
九四	群馬県北郷村	群馬県北郷村郷土誌
三九	群馬県北郷村	群馬県北郷村郷土誌
六九	群馬県北郷村	群馬県北郷村郷土誌
一一一	高崎市	群馬県佐野村郷土誌
一一二	高崎市	群馬県大橋村郷土誌
一一三	高崎市	群馬県高川村郷土誌
一三四	高崎市	群馬県京ヶ島村郷土誌
一三五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
九〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
八〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
七〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
六〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
五〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
四〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
三〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
二〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一一	高崎市	群馬県高野村郷土誌
一〇	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇九	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇八	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇七	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇六	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇五	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇四	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇三	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇二	高崎市	群馬県高野村郷土誌
〇一	高崎市	群馬県高野村郷土誌



新たに収録した

## 行政文書

新たに閲覧できる

## マイクロ複製絵図

管理受任等 平成十五年に管理委任及び引継により県の各機関から受け入れた文書は、五三八冊でした。(詳細は表1のとおり)

昨年度マイクロ複製化した絵図は、表3のとおりです。モノクロマイクロフィルムからの複製は即時にできます。

表1 平成15年度文書館管理受任文書室個別冊数

室 課 名	長期	短期	合計	室 課 名	長期	短期	合計
学事文書課	43		43	用地課	285		285
消防防災課	5		5	道路維持課	109		109
養 護 課	6		6	交通政策課	6		6
養老介護課	2		2	河川課	4		4
畜産課	11		11	都市計画課	2		2
林 政 課	10		10	住 宅 課	4		4
林業振興課	6		6	知事部局合計	538		538
森林保全課	24		24	教育委員会計	0		0
職業能力開発課	21		21	総 計	538		538

収 集 昨年度の文書整理において県の各機関が廃棄した文書資料中から、文書館が歴史資料と認めて収集したものは、三、三六三冊でした。(詳細は表2のとおり)。なお、議会図書室からのものは、郷土資料等)

表2 平成15年度収集文書室別冊数

部 局 名	冊 数
情報政策本部	6
総 務 部	502
保健福祉部	305
環境生活部	251
農 林 部	200
林 務 部	79
商工労働部	106
土木部	788
地方委員事務局	32
議会図書室	889
教養事務局	56
合 計	3,363

表3 平成15年度マイクロ複製絵図一覧

番号	地 区 名	番号	地 区 名	番号	地 区 名
	地事発行にかかると地目地図	明1064	新島郡海河	大 20	新島郡一毛新島町新島小字五軒及び地区別
明1061	甘家郡戸野千村地区地図	*	高崎市高平町	大 25	新島郡内田村・坂原郡高田町
	町字図(村誌地図) 郡界	*	北江町 上江町	大 30	新島郡志保村志保町地区別
議 101	熊本県水戸川村地区	*	熊本県多摩郡東石町	大 36	新島郡志保村大字中野村地区別
	沿革(地誌) 施設図	*	熊本県多摩郡高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 2	上野郡阿保町	*	熊本県多摩郡高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 84	上野郡高田町地区	*	上野郡高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 439	熊本県阿保町	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議2097	古川町阿保町	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
	新島郡阿保町(昭和後・字区)	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
1558	多摩郡志保町大字中野村地区別	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
	阿保追加ノ字	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 805	高田郡高田町地区	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 806	高田郡高田町地区	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
	官 有 地 区 界	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 158	上野郡阿保町	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
議 169	高田郡志保町高田町地区	*	上野郡高田町大字高田町	*	新島郡志保村大字中野村地区別
	土 本、河川開渠図	明1067	熊本県海河村	大 26	熊本県高橋町
1681	香川県本引町工事土地収用二冊	*	熊本県高橋町	大 27	熊本県高橋町
	工事設計説明書	*	熊本県高橋町	大 28	熊本県高橋町
	道 路、河 川 図	*	熊本県高橋町	大 29	熊本県高橋町
1726	村誌(高田町)付属(加、道)	*	熊本県高橋町	大 30	熊本県高橋町
	地 事 論 河 川 図	明1142	熊本県高橋町	大 31	熊本県高橋町
1751	(熊本県高橋町)内河川、内河、内河	明1143	熊本県高橋町	大 32	熊本県高橋町
	内河、内河、内河、内河	明1769	熊本県高橋町	大 33	熊本県高橋町
議 1	熊本県高橋町	明1915	熊本県高橋町	大 34	熊本県高橋町
	の 概 要	明2020	熊本県高橋町		
1749	(熊本県高橋町)内河川、内河、内河				
1750	(熊本県高橋町)内河川、内河、内河				
議 772	熊本県高橋町				
	明治期行政文書より複製				
明 533	山形県高田町				
明1054	山形県高田町				

新たに閲覧できる

## 古文書

閲覧点検等を終え、新たに閲覧利用できる寄託・寄贈文書は次のとおりです。

○甘美郡南牧村・三沢一也氏収集文書

明治中期から昭和十年代に至る北甘美郡月影村(現南牧村大日向)役場文書の一部で、現在の南牧村が誕生するまでの村行政の変遷を知ることができる史料です。  
(P九五〇三)

○甘美郡下仁田町・武井幸男家文書

明治三十年代末から昭和後期にわたる文書群で、幸男氏の父、理平氏の軍隊や教職に関する個人的な書類や書翰が中心です。  
(P九五〇四)

○マイク口収集文書では次のものです。

○明治期郷土誌

明治四十三年に、当時二〇八あった市町村が一斉に作成して考えられるもので、内容は、自然、戸口から郷土の沿革、風俗習慣、経済にまで及びます。平成十二年度からマイク口収集を開始し、現在までに二〇〇市町村分、計一六八冊の撮影、製本、点検が完了しました。

公開する郷土誌の詳細は、別頁に簡易目録と併せて掲載いたしましたので、併せてご覧ください。(FP〇〇七)

新たに収録された

## 古文書

平成十五年五月以降、当文書館へ寄託・寄贈された古文書は次のとおりです。

○碓氷郡松井田町・徳田健一家文書

吉井藩領木部村(現・高崎市木部町)に伝わる吉井藩年貢割付状や年貢骨清目録を中心とする名主文書で約二〇〇点です。  
(寄託)

○前橋市本町・岸島男家文書

伊勢崎藩医を務めた岸家に伝わる医学書が中心で、約二〇〇点です。本草綱目、「解制機要」、産科、婦人科医書の写本などが含まれています。(寄託)

○東京都日野市・鈴木重義家文書

田高崎藩士の鈴木家に伝わる文書で、追加寄贈文書として下仁田戦争関係の文書一点です。  
(追加寄贈)

○前橋市六旗町・高橋徳家文書

明治前期に六旗村で副戸長を務めた高橋家に伝わる文書群で、点数はおよそ二〇〇点です。明治六年の六旗村結団のほか、土地の譲渡証文などです。(寄託)

○伊勢崎市連取町・下城様式合村文書

すでに寄託されている織物関係経営文書と出所を同じくする追加寄託文書で、約二五〇点です。  
(追加寄託)

○旧多野郡黒田村文書

多野郡黒田村(現・多野郡神流町)に伝わる文書で、田地買入・借出金の手形など三点です。  
(寄贈)

○前橋市箱田町・遠辺精一氏収集文書

渡辺氏からの追加寄贈文書一〇点余りで、一部県外の文書を含む群馬県内の文書です。  
(追加寄贈)

○前橋市岩井町・社会福祉法人上毛愛隣社文書

上毛愛隣社の前身、旧上毛孤児院が明治三十二年から昭和十四年まで発行した「孤児の友」、「上毛孤児院月報」全号です。一三種に合本されています。(寄託)

○前橋市上郷井町・長谷川富雄家文書

江戸時代に名主を、明治には戸長を務めた長谷川家に伝わる文書群で、近世史料が二〇〇点余り、近現代史料が約四〇〇点です。明治四十年台の購買組合関係文書、貯蓄組合関係の文書や、農地改良関係史料も含まれています。(寄託)

○前橋市大栗横町・高橋測家文書

多野郡万場で商家を営んでいた高橋家に伝わる文書群の一部で、新聞類では明治二十五年からの上毛新聞一〇〇点のほか、群馬新聞、上州新報など群馬県関係のものや全国紙数種類を含んでいます。他に農業・農業関係の種子類、地図類など生活必需品が多く含まれています。

(寄贈)

マイク口収集文書では次のものです。

○吾妻郡吾妻町・小林靖雄家文書

大戸開所関係の文書を含む約六〇〇点の文書群です。

○埼玉県羽生市・石川行夫家文書

利根川の開所として名高い「川俣開所」(現・邑楽郡敷倉町及び埼玉県羽生市)の武蔵野国側の開所役人を務めた石川家の文書で、総数約一三〇点です。開所手形のほか、渡し船賃や利根川通船関係の文書などがあります。後年の写しですが川俣開所結団も含まれています。

○埼玉県羽生市・羽生市立郷土資料館文書

石川行夫家文書の一部で、羽生市立郷土資料館に寄贈された分二〇〇点余りです。道中手形が三通含まれています。

○埼玉県羽生市・佐藤蘭一家文書

川俣開所の開所役人は右の石川家とこの佐藤家が二軒で務めていました。文書の総数は約二六〇点。開所関係文書の多くは五本の巻子にまとめられていますが、そのほかにも巻子に御用懸状など開所関係の文書が多数含まれています。

○明治期「郷土誌」

新たに一四冊を撮影しました。この分も新規閲覧文書として公開しています。

(寄贈)



# Q&A レファレンス コーナー

Q 江戸の料理屋で名高い「八百善」について教えてください。

A 江戸時代

「詩は詩仏（大徳詩仏）、書は米庵（市河米庵）に狂歌傳、芸者小方に料理八百善」と

という狂歌を太田南畝が残しているように、浅草の山行にあった「八百善」は寛政（一七八九—一八〇二）頃から高級料亭として頭角を現しました。

特に八百善四代目である梁山善四郎は、文政二年（一八二二）には店舗を大幅に拡張しました。ここに掲げた神絵は、その拡張の普請（工事）の様子を描いたものですが、

「普請手広二仕候間御品置／御光栄偏二奉希上候 八百屋善四郎」が書かれた下げ札が認められます。

梁山善四郎は、京都や大坂などの上方（関西）



〔「料理通」萩原満家文書№138より〕

料理と異なる江戸料理の確立に大きく貢献しますが、その一つに「料理通」という書物を刊行して江戸料理のレシビを一般に広めたことも挙げられます。

料理のレシビは、板前（料理人）にとつて口伝であったため「料理通」の出現は各界に大きな衝撃を与えたものと想像します。

ちなみに「料理通」の「納豆」の項に以下のレシビが見えるのでお話しになってはいかがでしょうか。

・山芋納豆：「ひきわり納豆」にすりおろした「山イモ」をかけ、「土佐醤油」と「ワサビ」を添える。

・えのき納豆：サツと湯通した「エノキ草」に納豆を和え、ポン酢で食べる。  
・いか納豆：イカさそうめん、ひきわり納豆を和え、ワサビ、ポン酢、あさつきを添える。

## 市町村史誌編さん室紹介

### 倉瀨村誌編さん室

倉瀨村誌編さん事業は、平成十五年にスタートし、期間は概ね六年間で、平成二十年度に事業が終了する予定です。

平成十五年十一月に発行委員会が発足し、村誌の編さん方針、発行計画等村誌の編さんに関わる大綱が決定され、現在それにもとずき計画的に事務を進めています。

本村は、昭和五十年に開墾者のご尽力により、村民に親しみのある立派な村誌がすでに刊行されましたが、今回さらに村内外での資料調査と保存整理や聞き取り調査を行い、より充実した村誌の刊行に努めてまいります。

村誌は、原始・古代、中世、近世、近代、現代、民俗、自然の六部門で構成、資料編として各部門ごとに取りまとめ三巻、通史編として原始・古代、中世、近世、近代・現代合わせて一巻の計四巻の刊行を計画しています。

刊行予定は、平成十八年度に民俗、自然をそれぞれ分冊で、平成十九年度では資料編Ⅰ（原始・古代、中世、近世）及び資料編Ⅱ（近代・現代）を、最終の二十年

度に通史編となっています。

編さん委員には、県内で活躍されている各分野での専門家の方々をはじめ、村内有識者の方にお頼みし、原始・古代二名、中世二名、近世六名、近代・現代一名、民俗二名、自然六名の六部会を構成し、それぞれ活動しております。

編さん委員長には、近藤義雄先生、副委員長には、当村の市川光一先生にお頼みし、編さん室を多目的集会所二階に設置、事務員二名でスタートいたしました。

（倉瀨村誌編さん室長 桜井 晩）



# 告知板

○「群馬県行政文書件名目録」第15集  
(大正期学務編V)の発刊

本目録は「群馬県行政文書簿目録」第2集(大正期行政文書簿の分類項目「学務」に分類されている四一―二番のうち、「任免・賞罰」に属する文書で、小学校・官立学校・市町村立各種学校・幼稚園・図書館等の任免を中心に三〇四三件を収録した閲覧用の件名目録です。

○「群馬県立文書館収蔵文書目録」22の発刊

本目録は「甘楽・富岡地区諸家文書(1)」として東京都小金井市の尾崎忠男家文書(伝存地：富岡市一ノ宮)、富岡市の阪本千太郎旧蔵文書、富岡市の杉山洋一家文書、甘楽郡下仁田町の輪徳川原文江家文書、多野郡吉井町の武井幸男家文書(伝存地：下仁田町大森原)、横浜市の三沢一也氏収蔵文書(伝存地：南牧村大日向)、伊勢崎市の上岡高行収蔵文書(伝存地：南牧村紙沢ほか)等、八家の史料を収録しています。



○平成十六年度企画展・特別展  
「上州の名所を詠する」のご案内  
企画展

▽期日 十月十六日(土)

十一月十九日(日)

▽会場 文書館一階展示室 観覧無料  
特別展

▽期日 十一月十日(水)

十一月十六日(火)

▽会場 県庁市民ホール 観覧無料  
最終日は午後三時まで

群馬には、歴史や文化を物語る様々な名所があります。郷土に残る名所旧跡を再認識するとともに、群馬の良さを多くの方に知ってもらう機会となるよう、名所に関する絵図や文書等当館収蔵資料を中心に複製パネルで展示・紹介します。

主な展示コーナー  
・江戸時代の旅とガイドブック  
・地誌にみる上州の名所旧跡  
・幕府参見使が歩いた上州路  
・庶民が歩いた上毛三山の旅  
・庶民の信仰と観音札所めぐり  
・上州の温泉への旅  
・明治期の名所旧跡  
・昭和初期の名所旧跡

・群馬の公園と庭園  
ほかに、群馬の風景と紀行、群馬の名産品と特産品についても紹介します。ぜひ、お気軽にご覧ください。

# あゆみ

(平成15年10月―平成16年9月)

(平成15年度)

10・18 企画展「ぐんまの市町村合併の歩み―行政区域の移り変わり―」  
(11/12/21)

10・31 「ぐんま史料研究」第21号刊行

11・13 特別展「ぐんまの市町村合併の歩み―行政区域の移り変わり―」  
(11/11/19)

12・6 長期古文書解説講座09・東京大学史料編纂所助手杉森玲子氏

12・13 長期古文書解説講座08・駒沢大学非常勤講師板井邦夫氏  
ふるさと古文書講座(邑楽町・中之条町)(11/24)

2・6 収蔵文書展②(名主たちの明治維新―名主から口長へ―)(1/5/30)

2・12 群馬ニュース映画フィルムズのデジタルシネマ作業開始

2・20 文書館運営協議会開催

3・31 「群馬県行政文書件名目録」第15集(大正期学務編V)・「群馬県立文書館収蔵文書目録」第22集(甘楽・富岡地区諸家文書(1))・「文書館紀要」(反文)第21号「授業で使えるぐんまの資料」刊行

(平成16年度)

4・1 文書館文書調査員23名委嘱

5・27 群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会(群馬協)総会開催

5・29 古文書解説入門講座(1/6/26、全5回)

6・16 行政文書管理委員会、引継、収集作業開始

7・3 史料展示(甘楽・富岡地区諸家文書展)(10/2)

7・21 文書館運営協議会開催

7・24 長期古文書解説講座(11/27、全14回)

9・30 「ぐんま史料研究」第22号刊行

## 案内図



発行/群馬県立文書館  
〒371-0103 前橋市文京町二一三  
印刷/松本印刷工業株式会社  
字/岡原社人書